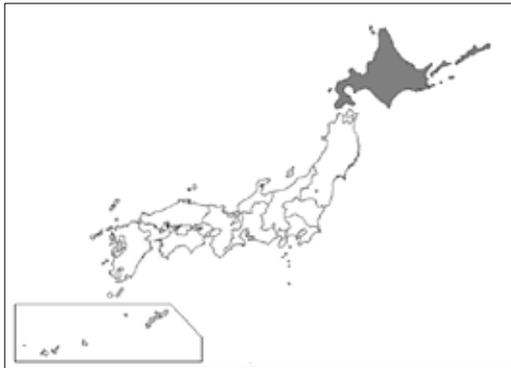


3 地域別の動向

(1) 北海道



北海道地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は底堅く推移している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回調査からの主要変更点

	前回(平成29年5月)	今回(平成29年8月)
景況判断	回復の動きに弱さ	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調
個人消費	おおむね横ばい	底堅く推移
住宅建設	大幅に増加	増加

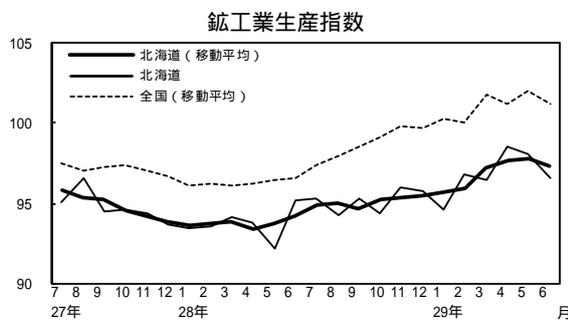
1. 生産及び企業動向

(1) 第一次産業は生乳生産、水産業の水揚量ともに前年を下回っている。

4～6月期には、生乳生産は総量では988,113tと前年比2.0%減となり、牛乳等向け、乳製品向けともに減少した。水産物の水揚量(主要8港)は、ほっけ等が減少したため、前年比72.5%減となった。

(2) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

4～6月期には、食料品は、酒類の安売り規制前の駆け込み需要等によりビールが増加した。パルプ・紙は、新聞巻取紙が設備改修等により減少した。電気機械は、電磁リレーや分電盤等が減少した。鉄鋼は、設備トラブル等により特殊鋼棒鋼が減少した。輸送機械は、自動車駆動伝導装置等が減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1～3 月期	4～6 月期	4月	5月	6月
食料品	24.2	1.1	3.1	2.3	1.1	2.0
パルプ・紙	11.9	0.2	2.6	7.0	1.8	4.0
電気機械	11.7	10.6	0.4	2.3	1.5	6.3
鉄鋼	7.5	5.6	2.7	6.4	13.1	8.8
輸送機械	7.0	6.0	1.5	11.2	14.4	2.6
鉱工業	100.0	0.6	1.8	2.1	0.4	1.5

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

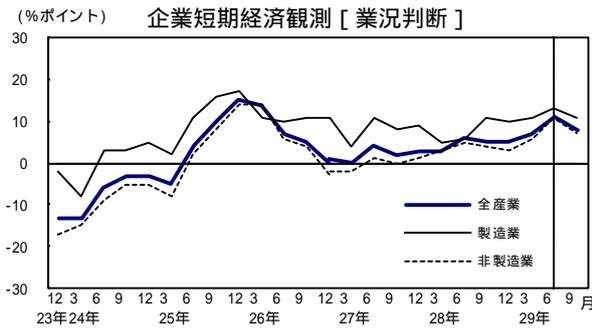
2. 4～6月期、6月は速報値。

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。

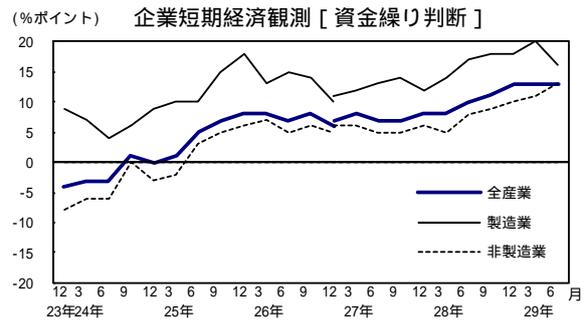
2. 全国及び北海道の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(3) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

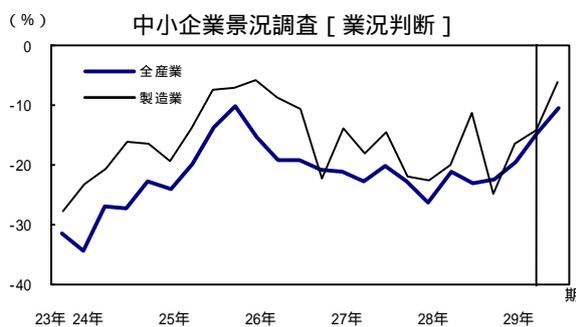
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年9月は予測、26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。26年12月は新・旧基準を併記。

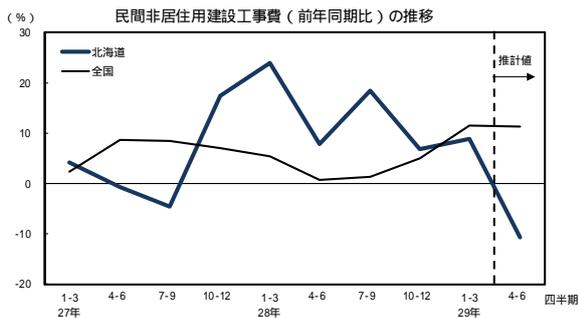


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「売上は引き続き前年比で10%以上の伸びを示しているが、伸び率が縮小してきている(その他サービス業[建設機械レンタル])」などの回答がみられた。

(4) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に減少している。



(備考)29年4-6月期は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査[設備投資(6月調査)]

(前年度比、%)

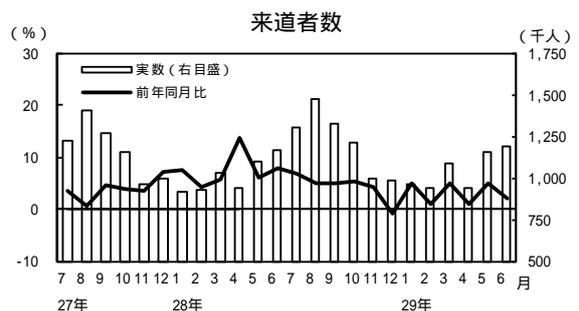
	28年度実績	29年度価
全産業	21.0 (3.5)	25.0 (4.8)
製造業	18.6 (3.3)	53.5 (3.5)
非製造業	21.9 (3.5)	13.8 (9.9)

(備考)1.()は前回(3月)調査比修正率。電気・ガスを除く。

2.リース会計対応ベース。

(5) 観光は増加している。

来道者数は、新幹線効果の反動減がみられたものの増加した。



(備考)北海道観光振興機構調べ。

(1) 北海道

2. 需要の動向

(1) 個人消費は底堅く推移している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比0.8%増、5月は同0.9%増、6月は同0.1%増となった。

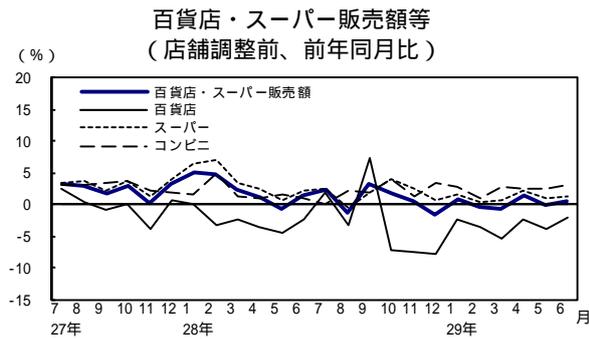
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4～6月いずれの月においても、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべての品目で前年を下回った。

スーパーは、4～6月期は、主に飲食料品が好調だったこと等から、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「旅行のピーク期に入り、夏休み需要などの効果もあり、来客数が増えている。特に前年悪かった海外のリゾート旅行の動きが良い (旅行代理店)」など、「やや良くなっている」とする回答が増加した。

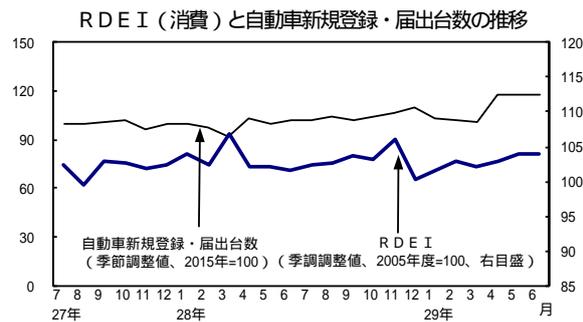


	29年4-6月	29年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.4	0.8	0.9	0.1
百貨店・スーパー(*2)	0.5	1.3	0.1	0.4
百貨店(*2)	2.8	2.3	3.8	2.2
スーパー(*2)	1.4	2.2	0.9	1.2
コンビニ(*2)	2.7	2.6	2.4	3.1
乗用車(*3)	15.6	12.8	19.0	15.3
(季節調整値)(*3)	15.0	16.8	0.6	0.6

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は増加している。

貸家が前年を上回ったことから、増加している。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を上回っている。

